

## 竜巻等突風対策検討会（第2回）議事概要

### 1. 検討会の概要

日時： 平成18年12月21日（木） 10:00～12:15

場所： 内閣府（中央合同庁舎第5号館）3階 防災A会議室

出席： 内閣府、内閣官房、警察庁、総務省、消防庁、外務省、文部科学省、農林水産省、資源エネルギー庁、原子力安全・保安院、国土交通省、気象庁、海上保安庁

### 2. 議題

- (1) 竜巻等突風対策の強化に向けて（有識者からのヒアリング等）
- (2) 米国における竜巻対策の現地調査について
- (3) その他

### 3. 議事概要

#### (1) 有識者5名からのヒアリング

「竜巻に関する研究・対策の現状と課題」 東京大学海洋研究所 新野教授（資料1-1）

・竜巻の定義、統計から見た竜巻、竜巻の発生する環境場、スーパーセルの構造、スーパーセルと竜巻のシミュレーション、藤田スケール、対策と課題について。

「米国での竜巻対策と我が国への示唆」 国連国際防災戦略早期警戒事務所 小野所長補（資料1-2）

・竜巻の強さのスケール、米国での発生・被害分布、備えについて。

「佐呂間町竜巻に関する現地調査等報告」 気象研究所 鈴木室長（資料1-3）

・11月7日の佐呂間町等の竜巻の現地調査、気象学的な特徴について。

「レーダ監視技術に係わる国内外の現状」 防災科学技術研究所 真木部長（資料1-4）

・気象レーダのタイプ、研究用レーダによる竜巻等の観測例、各国の現業気象レーダの現状について。

「竜巻等突風に対する研究課題」 建築研究所 奥田上席研究員（資料1-5）

・延岡竜巻と佐呂間竜巻の建築物等の被害、過去の強風災害と建築分野での対策、竜巻等突風に対する今後の研究課題について。

#### (2) 米国における竜巻対策の現地調査について（資料2）

竜巻対策の先進国である米国における予報警戒体制、情報伝達・避難誘導體制、教育・意識啓発等の取組の実情を調査する予定。

#### (3) その他

普及啓発用パンフレットの作成（内閣府）

- ・竜巻、台風等の強風災害に関する一般向けのパンフレットを年度内に作成したい。
- ・作成にあたっては、写真、データの提供、掲載内容等について各省庁の協力をお願いしたい。

「北海道佐呂間町で発生した竜巻による甚大な災害に関する調査研究」への科学研究費補助金（特別研究促進費）の交付について（文部科学省）